



◎旧西中学校や旧鷹山小学校などの公共施設の跡地利用はどのような状況か。

A. 現在、旧西中学校や旧鷹山小学校に加えて、旧あゆかい保育園など、町内全体の遊休資産について、庁内ワーキングを立ち上げて検討しています。その施設が有している環境を活かす、民間の主體的な管理運営、雇用創出などの視点において検討しておりますが、福祉関係からの利活用の要望もあり、総合的に検討しています。

◎空き家対策についてはどのような状況か。

A. 空き家対策は、全国的な問題として、「空き家対策の推進に関する特別措置法」という法律が施行され、老朽危険家屋の所有者情報の取得や立ち入り、行政代執行などが可能になりました。

町としては、この法律に基づいて対応していきませんが、まだまだ利用できる空き家については、人口減少の歯止め

となる移住者の受け皿としての利用を考えています。

具体的には、8月、民間事業者による空き家ネットワーク協議会を設立していただき、「空き家バンク」を開始しました。今後は、登録軒数を増やしていただくなど、有効活用を図りたいと考えています。

◎その他

○白鷹中学校の現在の様子

A. 生徒数は413名、2年前から実施してきた東西中学校の交流などの成果もあり、スムーズに学校運営が行われ、授業も仲良く受けています。

生徒会では、昨年度中にそれぞれの学校で役員が選出されていきましたので、生徒会長など2名ずつの体制ですが、順調に活動しています。

部活動では、新しく柔道部と陸上部が増えました。6月の西置賜地区中学校体育大会では、7種目において団体優勝をしています。

P T A活動は、昨年度から準備いただき、全保護者が3年間の中で1回は役員をする体制の中で、学校と連携を深め活動していただいています。

○人材育成、若者育成、特に国際感覚の養成について具体的な取り組みは？

A. 今年度、白鷹人育成基金を活用して、町内の中学生と高校生を海外に派遣します。具体的には、11月に、オーストラリアへ、中学3年生5名、荒砥高校2年生3名を派遣し、国際感覚を養っていただきたいと準備を進めています。

○十王地区コミュニティセンターを山峡体育館周辺にできるだけ早く整備してほしい。

A. 十王小学校と荒砥小学校の統合当時から要望をいただいている事項と承知しています。コミュニティセンター整備や災害時の避難所の問題については、町全体から要望がある中で進めていかなければなりません。予算的な裏付け

をしっかりと取りながら、また町民の皆さんのご意見を頂戴しながら進めていきたいと考えています。

○萩野地区の地域課題である区長登記を早期に解消してほしい。

A. 区長登記の解消に向けて、現在地籍調査を実施しておりますが、調査のペースを上げていくために、人員体制や予算の確保などを検討しています。一日でも早い解消に向けて取り組んでいきます。

この他にいただいたご意見をまとめたものを、企画政策課情報係及び各地区コミュニティセンターに設置しますので、ご覧ください。

また、町のホームページでもご覧いただけます。

■問い合わせ

企画政策課情報係 ☎ 85 - 6121